

企画提案書 概要版

① 受託業務に対する考え方（取組姿勢）・提案内容の全体像

本法人には、子どもたちが発する喜びや不安といった多様な心の「サイン」を見逃さず、一人ひとりに寄り添う願いが込められています。杉並区が掲げる「**すべての子どもが自分らしく生きていくことができるまち**」の実現へ向け、「子どもの最善の利益」を最優先とし、児童の主体性を最大限に引き出す環境を構築します。



自己決定の尊重



多様な交わり



自由な創造性

【地域共生社会の実現】

年齢や障害の壁を取り払い、地域全体で子どもを支える社会を目指します。「子ども会議」で児童の声を運営に反映させ、学校・地域との有機的な連携を図ります。

【ユニバーサルデザイン的环境】

教室を「生活の場」「静」「動・創造」「クールダウン」の4ゾーンに構造化。発達上の特性を持つ児童も自分らしく安心して溶け込める空間を作ります。

② 適切かつ安全・安心な運営 & 法人運営体制

【法人の盤石な連携・運営体制】

特定非営利活動法人
サイン（運営事業本部）

[災害対策本部 / 顧問(社労士・税理士) / 広報・経理]

【放課後等居場所事業】

管理責任者・心理士/福祉士・常勤/非常勤
◀連携▶ 杉並区（子ども家庭部）

【学習支援・イベント部門】

登録ボランティア・学生等
◀連携▶ 杉並区（地域の学校推進課）

【組織的な人権擁護と安全管理】

- ・**日本版DBS**を見据えた採用：性被害を防ぐ厳格な採用基準と、密室状態を完全に排除する物理的オープン化を徹底。
- ・**危機管理の徹底**：WBGTを用いた熱中症対策、学校保健と同期した感染症対策、突発的ケガへのマニュアル運用。
- ・**いじめ・虐待の早期発見**：児童の小さな変化を逃さず、個人の判断に頼らない組織的対応と即時連携を実施。

【専門性向上とサポート体制】

- ・**地域連携コーディネーター**：管理責任者を窓口とし、リスク管理や職員育成（OJT等）を統括。
- ・**実践的研修**：消防署・警察署と連携した救命・防犯訓練や、発達支援に関する研修を定期実施。
- ・**多重バックアップ**：有事や急な欠員時は、法人の「災害対策本部」が現場を全面支援。

③ 提案によって期待される効果 年間指導・行事計画

当法人では、行事を単なる一過性のイベントではなく、「**日常の遊びを豊かに深める触媒**」と位置づけています。子どもたちの疲労度や季節の変化、杉並区の豊かな地域資源を考慮し、「**主体性の育成**」「**日常との連続性**」「**地域資源の循環**」をテーマとした年間計画を展開します。

【春（4～6月）】 出会いと安心	【夏（7～8月）】 探究と非日常	【秋（9～11月）】 創造と協働	【冬（12～3月）】 伝統と次へ
▶新入生ウェルカム週間 ▶居場所のルール探検ツアー ▶異年齢仲よしミニゲーム ▶梅雨の室内遊び工夫	▶夏休み突入ミーティング ▶じっくり探究・宿題サポート ▶地域人材とのミニ講座 ▶理科教室プロジェクト	▶防災・避難訓練ウィーク ▶子ども委員会企画：秋祭り ▶秋のミニ・スポーツフェス	▶冬のお楽しみ会 ▶新春お正月遊び・伝承遊び ▶節分の豆まき（感情調整） ▶1年間の成長振り返り・送る会
★ねらい 環境変化による不安をほぐし、異年齢交流を通して自然な仲間づくりと安心感を醸成します。	★ねらい 水鉄砲大作戦&駄菓子屋数日かけて企画・準備し、非認知能力と協働性を育む長期休業ならではの大型体験を実施します。	★ねらい 学校行事の高揚感を活かし、高学年を中心とした自主企画イベントで主体性を育成します。	★ねらい 年末の大掃除で「現状復帰」の心を養い、伝承遊び等で世代間交流とコミュニケーション力を高めます。



③-2 提案によって期待される効果 杉並区が目指す姿の実現へ

- ・「**自己肯定感・非認知能力**」の向上：日常の小さな役割や、結果よりプロセスを認める声かけの蓄積により、児童の自己有用感を育みます。
- ・「**折り合いをつける力**」の習得：遊びの中でのトラブルを排除せず、双方の気持ちを「言語化」するサポートにより、児童自らが解決策を導き出せるよう促します。
- ・「**学校・地域との強固な連携**」：毎日の徹底した「現状復帰（清掃・レイアウト戻し）」により学校教育の場を大切に共用し、近隣学童クラブや地域ボランティアと有機的に結びつく循環型の居場所を実現します。